

「北方領土教材」指導案（中学校）

埼玉県北方領土教育者会議

【地理的分野】

○学習指導要領の内容 A（1）

【歴史的分野】

○学習指導要領の内容 C（1）

1 本時の学習

（1）本時の目標

・北方領土、竹島と尖閣諸島について、日本と周辺国との間に領土をめぐる対立が生じていることを理解する。

（2）本時の展開

○学習活動・学習内容	■指導上の留意点及び 北方領土教材の活用例
<p>〈導入〉</p> <p>○日本の領土をめぐる紛争について聞いたことがあるか確認し、地図帳や資料集などを見て、気付いたことを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none">・北方領土、竹島、尖閣諸島について・北方領土問題について聞いたことがあるか。 (島の名前を知っているか)・北方領土の場所や名前を確認。・どんなことが問題になっているか。	<p>■ 北方領土検定自然編、等を使用。 地図帳や資料集を開かせる。あれば北方領土の現地の写真を出す。</p> <p>■ 政府は、尖閣諸島は日本固有の領土であり、領土問題は存在しないという立場である。</p> <p>■ 納沙布岬のすぐ目の前であることに気付くことができるようにする。</p>
<p>〈展開1〉</p> <p>○北方領土を巡る歴史</p> <ul style="list-style-type: none">・日露和親条約・千島樺太交換条約・ポーツマス条約 <p>により国境がどう変わったかを説明する。</p> <p>○3つの条約での領土変遷を、白地図で日本領を塗らせたり、国境線を引かせて確認する。</p>	<p>■ 中学生用ワークシート⑤を使って、3つの条約時の国境をそれぞれ書かせた後、一つに重ねてみると北方4島がずっと日本の領土だったことがわかりやすい。</p> <p>■ 平和的な交渉のなかで、北方領土の中でずっと日本の領土だったところはどこか気付くことができるようにする。</p>